

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 8 市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる

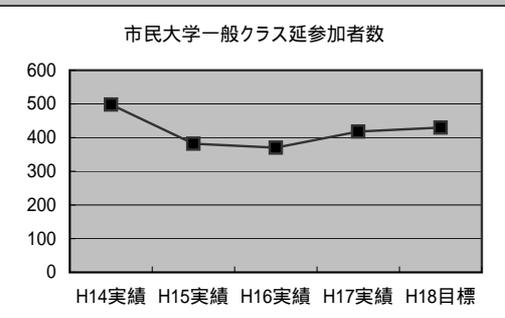
行動目標 8-2 市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める (所管課名 市民文化部市民文化課)

任務	市民が主体となってまちづくりに参画していくため、ライフステージに応じた生涯学習活動を支援する
----	--

任務の成果・活動指標の推移

市民大学一般クラス延参加者数

H14実績	498人
H15実績	382人
H16実績	370人
H17実績	418人
H18目標	430人



学習情報掲載数

H14実績	0件
H15実績	0件
H16実績	144件
H17実績	817件
H18目標	900件



指標の説明

市民が主体的に生涯学習活動を行うための支援の指標としては他にも考えられるが、数値として把握しやすく市民にとってもわかりやすい、市民大学一般クラスの数値参加人数と、新たに取り組んだ生涯学習情報提供事業の指標としてホームページ学習情報掲載数とした。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

ライフステージに応じた生涯学習活動を支援するため、市民大学一般クラス・熟年クラスや公民館事業等を実施した。また、市民主体の学習情報の発信として、民間による学習情報の提供を行うという視点のもとに、ホームページの学習情報検索画面を立ち上げるなど積極的な情報発信に努めた。掲載学習情報数は、立ち上げた平成16年度末は144件で平成17年度末は800件を超えた。市民ボランティア記者の取材編集による学習情報誌も第4号まで発行した。23地区市民センターと楠公民館で学習活動を行うサークルは平成17年11月現在で699団体で、引き続き利用拡大に取り組むとともに、サークル活動に参加したい市民へのサークル紹介をスムーズに行えるよう努めた。平成17年度に生涯学習部門を市長部局に移管し、なや学習センターについては指定管理者制度を導入し、市民活動センターと一体的に管理し、市民が交流しあえる学習の場づくりを市民との協働で進めることとした。

平成18年度

平成18年度の市民大学一般クラス事業については、市民企画講座の公募や、大学に委託するコースに加え、地域マネージャーの受験資格ともなり得るような地域社会づくり講座なども設定し、団塊シニアの参加も得ながら、市民の自己実現に資するような生涯学習の場づくりを推進していく。

これからの課題、施策等展開の方向性

市民や市民団体が主体的に学習に参加しまちづくりに活動につながっていくように、現在行っている市民との協働事業についてさらに広く市民が関わっていけるよう点検しながら進めていく。